

## 豊田工業大学

〒468-8511 愛知県名古屋市長久方2-12-1 入学試験事務室 TEL 052-809-1716 FAX 052-809-1721 (HP) <https://www.toyota-ti.ac.jp/>

## TOPICS

- 世界のTOYOTA（トヨタ自動車）が設立した大学
- 就職決定率は100%（2023年度実績）
- 授業料は国公立大学並みの60万円／年（初年度納付金は約98万円）
- 充実の教育・研究環境（学生一人あたりの大学支出額は612万円／年）

## ■学部・学科組織

- 工学部 先端工学基礎学科100(社会人入試など含む)

## 大学GUIDE

**トヨタ自動車が設立** トヨタ自動車の社会貢献事業の一環として1981年に開学。「企業と創る自立型人材の育成」をめざし、トヨタグループその他各社の支援のもと、産学一体となった教育・研究環境を整備しています。

**ハイブリッド教育** カリキュラムは「機械システム」「電子情報」「物質工学」の3分野を横断して学ぶことが可能です。工学の統合的な理解を得ることで、複眼的な発想力や問題解決力を養います。

**専門分野を決めるのは2年次後期** 入学時は専門を決めず3分野の基礎科目を広く学び、2年次後期に専門分野を決められることもカリキュラムの特徴です。

**第2の専門知識(副専攻)の修得** 3分野を学ぶカリキュラムの特性をいかし、自分の専門分野(主専攻)以外の講義を履修することで第2の専門分野の知識を修得することができます。幅広い専門知識を得ることで、自身の研究を多角的視点から捉えるなど、挑戦的な研究も可能となります。

**少人数教育** 教員1人あたりの学生数は約10人。実習科目では1グループ6～8人で構成。少人数での学修環境は、机上の学理だけでなく、学んだ知識を学生一人ひとりが実験・実習を通じて体験的に理解を深め、実践力を身につけることに有効です。

**インターンシップ** 1・3年次は全学生が必修科目の「インターンシップ」を実施。実習先はトヨタ自動車・三菱電機・ダイキン工業など40社以上の製造・研究開発部門です。期間は1～1.5カ月。企業から提供される実習テーマを選び、課題に取り組む本格的な実習です。

また、企業派遣講師による講義・実習も多数。「トヨ



実学とコミュニケーションを重視したキャンパス。学生産方式概論」や「電機メーカーでの研究開発に必要とされる工学」など、産業界で取り込まれている技術開発の現状等を学ぶ機会が豊富に設置されています。

**データサイエンス・AI教育プログラム** 文部科学省の認定制度「応用基礎レベルプラス」に選定。自動運転やロボットなど最新の研究における実応用事例を題材にデータサイエンスや機械学習の基礎知識を学びます。また、企業の製造活動で得られたデータ解析やAI機器の制作を演習として実施し問題解決プロセスを修得します。

## 卒業後の進路

**就職指導** 工学の幅広い知識と専門性を身につけ、体験的学習を通して、学んだ知識をモノづくりにいかすことを修得した学生の就職決定率は100%。大学院進学率は74%です（2024年3月卒業・修了生実績）。

**主な就職先** トヨタ自動車、豊田自動織機、デンソー、アイシン、豊田合成、トヨタ車体、トヨタ紡織、ダイハツ工業、SUBARU、マツダ、スズキ、本田技研工業、コマツ、クボタ、三菱重工業、ヤマハ発動機、ダイキン工業、NEC、パナソニック、三菱電機、日立製作所、SONY、キヤノン、京セラ、オリンパス、AGC、三菱マテリアル、LINEヤフー、NTTドコモ、LIXIL、清水建設、JR東海ほか

## 入試GUIDE (2025年度入試)

## 学部一般選抜

## 一般選抜に「一般入試」を導入しました

- 一般入試は大学独自で実施する筆記試験「数学、物理/化学、英語」で合格判定。
- 共通テスト利用入試(A方式)のみ、2026(令和8)年度入試で「情報科目」を課します。

## 公募推薦入試

- 2025年の高校3年生・既卒1年目の方が受験対象
- 試験日は2025年11月22日(土)予定
- 出願資格に「英検CSEスコア」などが必要
- ※詳細はホームページで適宜ご確認ください